令和8年11月発行

～ふるさと新発田の情報をお届けします～

第54号 ふるさとあやめ通信

新発田市は令和9年度に市制施行80周年を迎えます！







市制施行から80年。今日の新発田市があるのは、まちを愛し、支えてくださったみなさまのおかげに他なりません。これからもみなさまとともに考え、ともに歩みながら、ふるさと新発田の新たな魅力と未来を育んでまいります。

～新発田市簡易年表～
＜詳しくはHP掲載の「新発田市のあゆみ」から＞

1947年（昭和22年）：新発田市制施行
（県内5番目の市）

1987年（昭和62年）：市の花にあやめ、
市の木にさくらを制定

2003年（平成15年）～2005年（平成17年）：
「平成の大合併」
2003年：豊浦町と合併
2005年：紫雲寺町、加治川村と合併

2016年（平成28年）：新庁舎「ヨリネスしばた」開庁

第二十三回 城下町しばた全国雑煮合戦

日本最大級の雑煮フェスが今年も開幕決定！
昨年は荒天により残念ながら中止となりましたが…
2027年も全国から選りすぐりの雑煮が集結します

日時：令和9年 1月 10日（日）
場所：新発田市本庁舎&上・中町商店街

詳しくはHPをご覧ください



城下町新発田会 ふるさと訪問

令和8年10月23日～24日、今年で25周年を迎える「城下町新発田会」の役員のみなさまがふるさと新発田を訪問されました。

城下町新発田会はH13年に発足以降、継続的に活動を続けてこられ、R5年以降3年ぶりのふるさと訪問となりました。

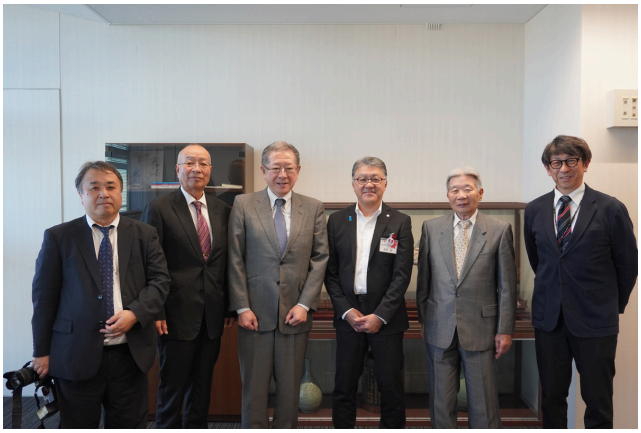
副市長表敬訪問では、首都圏と新発田のつながりについてや、新発田での懐かしい思い出話に花が咲きました。

その後市内割烹にて懇親会を開き、地元賛助会員や市職員と親睦を深めました。

翌日は思い思いの時を過ごし、実家に帰省する方や新発田高校の130周年記念式典に参加する方などがおられました。



▲副市長表敬訪問の様子







▲談笑する小野会長と渡邉副市長

魅力あふれる秋の新発田を
ご堪能いただけましたでしょうか？
またのお越しを心から
お待ちしております！



【ふるさと訪問をされる郷人会のみなさまへ　補助金のご案内】
新発田までの交通費等を補助する最大10万円の補助制度がございます(2/3補助)
ふるさと訪問をされる際は、お早めに下記までお知らせください

担当：市民まちづくり支援課　☎0254-28-9640　✉machizukuri@city.shibata.lg.jp

首都圏へおじゃまします!



えびな市民まつり

新発田市と神奈川県海老名市は、令和３年11月から「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。
この繋がりを受け、毎年「えびな市民まつり」への参加を通し、交流を深めているところです。

今年も新発田市のブースを出店し、首都圏のみなさまに新発田の「おいしい」をお届けします！
お近くの方はぜひお越しください！





▲　例年の様子

開催日　令和８年11月15日（日）

会　場　海老名運動公園
住所：海老名市中新田3291－19

時　間　午前9時30分～午後6時

新米や日本酒、新発田牛や名種野菜など…ぜひお買い求めください♪

新発田市関連イベント

おじゃましました！



大阪・新歌舞伎座×新発田市 食と観光を楽しもう！

10月18～27日「大阪 新歌舞伎座×新発田市地域連携プロモーション」を実施し、地域産品を集めた新発田市PRブースを展開しました。
期間中には、新発田牛と新発田産コシヒカリを使用した特製弁当を二階堂市長から松平健座長・コロッケ座長にお届けし、来場者向け販売でも完売となりました。
劇場内デジタルサイネージでは観光・シティプロモーション動画も放映し、“新発田の魅力”を発信しました。

『ももクロ秋の桃神祭2026』 新発田市からバトンをつなぐ

大人気アイドル ももいろクローバーZ×地域連携型の大型ライブが、今年は千葉県長生村で行われました！
（10月17～18日）
昨年の開催地・新発田市からは渡邉毅副市長が登壇し、千葉県長生村の岡本高直村長に『笑顔のバトン』を引き継ぐところからライブがスタートしました。
新発田市の物販ブースに足を運んでくださったみなさま、ありがとうございました。

コラム

～地域おこし協力隊からみた「新発田」のいま～

新発田市では、現在19名の地域おこし協力隊が活躍しています。数ある活動地の中から、新発田を拠点として選んだ協力隊員に、「新発田」についてお聞きしました。

地域おこし協力隊とは … 都市地域から過疎地域等へ移住して、概ね3年間の任期の中で「地域協力活動」をしながらその地域への定住・定着を図る取組



かとう　ひであき
加藤　秀明
令和7年4月1日着任

“有機JAS認証米”の栽培・産地形成、菅谷地域で有機栽培の米作りに取り組んでいます

地域おこし協力隊に着任した去年の4月、市内では4つのカラーに彩られた春の一大イベントが開かれました。正直に「おぉ、盛り上がっているな！」という印象でした。

１年間過ごしてみると「新発田まつり」をはじめとしたフェスティバルが年間を通じて開催され、桜やあやめなどの「自然」、越後姫やアスパラガスなどの「食」を中心としたイベントもたくさんあります。まさに「しばたやるねっか！」です！

新発田出身の方やご興味を持つ方々が、市民と一緒にイベントを楽しむことでさらなる盛り上がりに繋がると期待しています！

数々のイベントをきっかけに、多くの方が新発田への帰省や旅行を計画してくださると嬉しいですね！



次に、ほかの協力隊員に聞いてみた「新発田の魅力」を紹介します。
“豊かな自然が溢れているとともに生活にも不便がない”“都会すぎず田舎すぎず、暮らしやすい”などなど…。自然と都市が両立している良い印象ですね。私もそう感じています！

ORGANIC SHIBATA



私の協力隊での活動は「オーガニックSHIBATAプロジェクト」の一環である“有機ＪＡＳ認証米”の栽培・産地形成で、菅谷地域において有機栽培での米作りに取り組んでいます。農薬や化学肥料など化学物質に頼らないため苦労することが多いですが、自然環境、持続可能性や地域循環などメリットが大きいことが魅力です。

新発田産の有機米が皆さまの選択肢の１つとして広がること、農業の担い手として子どもたちの未来へ食を繋げることを目指してチャレンジしていきます。

最後に、ふるさと新発田のおいしいお米をたくさん食べてほしいですね。特に二王子岳を１つの源とする川の水で育つ菅谷地域のお米はおすすめです！
皆さんが“新発田米”のサポーターでありアンバサダー！これからも応援をよろしくお願いします！

発行：新発田市市民まちづくり支援課　市民まちづくり支援係
〒957-8686 新潟県新発田市中央町3-3-3 TEL0254-28-9640